

山陰中央新報に安心米700食を立正大湊南高校へ寄贈した記事が掲載されました
(2020年9月11日付)



北村直樹校長にとうもろこし入りご飯を寄贈する矢富伸治専務（左）

黄色いご飯にエール込め

アルファード食品 立正大湊南高に寄贈

松江

サッカー部で新型コロナウイルスの大規模クラスター（感染者集団）が発生した立正大湊南高校（松江市大庭町）を励まそうと、加工食品製造のアルファード食品（出雲市大社町北荒木）が10日、同社の「安心米とうもろこしご飯」700食を同校に届けた。サッカー部チームカラーの黄色にちなみ、とうもろこし入りご飯を贈った。

立正大湊南を応援する動きは広がっている。サッカー部OBで元日本代表の岡野雅行氏（48）やライバル校が動画でエールを送っているほか、地域住民や全国から激励の電話や差し入れが寄せられている。

寄贈はアルファード食品営業本部の宮下貴仁課長代理（41）が発案。国体の選抜メンバーだった高校時代、南健司監督に技術指導を受けた恩返しの一環と気持ちを込めた。

この日は矢富伸治専務（56）が同校を訪ね「地域や企業が応援していることを伝えてほしい」と激励。受け取った北村直樹校長（52）は「地域の支援が前に進む原動力になっている。生徒たちに伝えたい」と感謝した。

（片山皓平）